

再処理技術開発センターの状況(週報)

[期 間]

平成24年11月2日 金曜日 午前8時 ~ 11月9日 金曜日 午前8時

[処理実績]

項 目	この一週間の実績		本年度の実績		運転開始後の実績 ¹⁾				
使用済燃料の受入	0 トン		0 トン		1180 トン ⁵⁾				
	LWR等	0 トン	LWR等	0 トン	LWR等*	1029 トン			
	ATR	UO ₂	0 トン	ATR	UO ₂	0 トン	ATR	UO ₂	99 トン
		MOX	0 トン		MOX	0 トン		MOX	53 トン
使用済燃料の再処理 ²⁾	0 トン		0.0 トン		1140 トン				
	LWR等	0 トン	LWR等	0 トン	LWR等*	1029 トン			
	ATR	UO ₂	0 トン	ATR	UO ₂	0 トン	ATR	UO ₂	82 トン
		MOX	0 トン		MOX	0 トン		MOX	29 トン
ガラス固化体の製造	0 本		0 本		247 本				

[放出放射能]

放出口	放出核種	この一週間の放出量(GBq) ³⁾	本年度の放出量(GBq)	基準値に対する ⁴⁾ 割合
排気筒	クリプトン	N. D. ⁶⁾	N. D. ⁶⁾	—
海 洋 放出口	α線を放出する核種	N. D. ⁵⁾	N. D. ⁵⁾	—
	β線を放出する核種 (トリチウムを除く)	N. D. ⁶⁾	N. D. ⁶⁾	—
	トリチウム	2.1×10^1	5.3×10^2	1%未満

※ LWR等の内訳は、LWR1020トン、JPDR9トンです。

1) 使用済燃料の受入れ及び再処理の運転は昭和52年に開始しました。

ガラス固化体の製造の運転は平成7年に開始しました。

2) 使用済燃料の再処理は、使用済燃料をせん断した量を示しています。

3) ベクレル(Bq)は放射能の強さを示す単位です。1ギガベクレル(GBq)は 10^9 Bqのことです。

4) 保安規定に定める1年間の最大放出量(クリプトン: 8.9×10^7 GBq、α線を放出する核種:4.1GBq、β線を放出する核種(トリチウムを除く): 9.6×10^2 GBq、トリチウム: 1.9×10^6 GBq)に対する本年度の放出量の割合を%で示しています。

5) N. D. (Not Detectable)は検出限界濃度(0.0011 Bq/cm³)未満を示しています。

6) N. D. (Not Detectable)は検出限界濃度(0.022 Bq/cm³)未満を示しています。